

## ?

## 調査概要

調査目的：	医師のブランド想起を元に、各プロモーションの有効性を定期的にトラッキング	有効回答：	約10,000s
調査方法：	インターネット調査	調査期間：	年4回（1・4・7・10月）
調査対象：	全国の臨床医	調査主体：	株式会社インテージヘルスケア

## 製品想起ランキング

※医師が製品5つを想起し、各製品の印象を評価。  
 下記ランキングは印象が「ニュートラル以上(ポジティブ)」のみを分析対象とする。  
 ※下記結果は診療科問わずTOTALで算出（診療科等による絞込みも可）

IMPACT  
TRACKSOC  
SHARE OF CHANNELS2019年10月  
TOTAL想起数

- 1 タケキャブ
- 2 タリージェ
- 3 グーフイス
- 4 サインバルタ
- 5 リリカ
- New 6 サムスカ
- 7 パルモディア
- New 8 ネキシウム
- New 9 リクシアナ
- New 10 イグザレルト

New:  
2019年7月  
TOP10圏外2019年10月  
MR想起数

- 1 タリージェ
- 2 パルモディア
- 3 タケキャブ
- 4 グーフイス
- 5 ビレーズトリ
- 6 テリルジー
- 7 イベニティ
- 8 リクシアナ
- 9 ゾルトファイ
- 10 イグザレルト

2019年10月  
ノンプロ想起数

- 1 タケキャブ
- 2 サインバルタ
- 3 リリカ
- 4 タリージェ
- 5 グーフイス
- 6 サムスカ
- 7 ネキシウム
- 8 アミティーザ
- 9 ビラノア
- 10 イーケプラ

2019年7-9月  
MR宣伝回数

- 1 タケキャブ
- 2 グーフイス
- 3 タリージェ
- 4 サインバルタ
- 5 フォシーガ
- 6 ネキシウム
- 7 カナグル
- 8 リリカ
- 9 ロスーゼット
- 10 スージャヌ

## SOC2019年10月 TOTAL想起数No.1はタケキャブ

全チャンネル総合で最も想起された薬剤はタケキャブであった。2019年1月 ゾフルーザ、4月 タケキャブ、7月 タリージェ、10月 タケキャブと変化している。

タケキャブ・タリージェが上位であるが、タケキャブは「患者の声」「使用感評価」といったノンプロ想起数の割合が高く、タリージェはMRチャンネルによる割合が高い。

本調査結果・SOCに関するお問い合わせ ant-syndicated@intage.com

\*記事本文・データ転載をご希望の際は、上記メールアドレスにご連絡ください

SOC  
SHARE OF CHANNELSIMPACT  
TRACKSOC  
SHARE OF CHANNELSIMPACT  
TRACK

	2019年10月 TOTAL想起 No.1	2019年7-9月 MR宣伝回数 No.1		2019年10月 TOTAL想起 No.1	2019年7-9月 MR宣伝回数 No.1
一般内科	<b>パルモディア</b>	フォシーガ	一般外科	タケキャブ	タケキャブ
循環器内科	<b>エリキュース</b>	イグザレルト	心臓血管外科	<b>サムスカ</b>	エリキュース
消化器内科	タケキャブ	タケキャブ	消化器外科	タケキャブ	タケキャブ
呼吸器内科	テリルジー	テリルジー	呼吸器外科	キイトルーダ	キイトルーダ
血液内科	<b>ダラザレックス</b>	ガザイバ	整形外科	<b>タリージェ</b>	サインバルタ
糖尿病内科	<b>ゾルトファイ</b>	フォシーガ	脳神経外科	<b>イーケプラ</b>	ビムパット
リウマチ科	<b>アクテムラ</b>	ケブザラ	乳腺外科	<b>イブランス</b>	ベージニオ
腎臓内科	<b>オルケディア</b>	ネスPAG	産婦人科	<b>レルミナ</b>	ジェミーナ
神経内科	アジレクト	アジレクト	皮膚科	ドボベツト	ドボベツト
			泌尿器科	<b>ベオーバ</b>	アーリーダ
			耳鼻咽喉科	ビラノア	ビラノア
			精神科	レキサルティ	レキサルティ
			眼科	エイベリス	エイベリス
			小児科	モビコール	モビコール
			放射線科	<b>イオバミロン</b>	ガドビスト
			麻酔科	<b>ブリディオ</b>	タリージェ
			救急科	<b>リコモジュリン</b>	ゼチーア

26診療科で“No.1薬剤”をそれぞれまとめた。  
「製品想起」「MR宣伝回数」で  
“No.1薬剤”の異なる診療科  
は15診療科であった。

※ご興味のある方はインテージヘルス  
ケア担当者までご連絡ください

本調査結果・SOCに関するお問い合わせ [ant-syndicated@intage.com](mailto:ant-syndicated@intage.com)

\*記事本文・データ転載をご希望の際は、上記メールアドレスにご連絡ください